

# 人とペットの命を守るためのコミュニティ支援ツール！

## ☰ 概要

災害時にペットを避難させられるのか？  
ペットを受け入れてくれる避難場所はあるのか？  
避難できたとしても、ペットのいない方々に理解が得られるのか？  
悩みは尽きません・・・。

そんな災害時の対応に備えるためにも、ペットと暮らす方々に  
日ごろから問題意識を持ってもらい、準備や訓練に向けた支援ができればと思います。

まずは自助に向けた知識をコミュニティ上で発信し、  
次に互助に向けたグループ作りと訓練を提案します。  
オプションとして、犬の場合はドッグトレーナーを招いたトレーニングも含め、  
飼い主とペットにとって、災害に備えながらも、  
交友関係の広がりやペットの成長を楽しむことのできる  
継続した活動とその支援ができる場を、ITを起点に提案します！

## ☰ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

- ・災害時にペットを避難させられるのか？
- ・ペットを受け入れてくれる避難場所はあるのか？
- ・避難できたとしても、ペットのいない方々に理解が得られるのか？

→コミュニティ支援ツールを提供して、飼い主とペットにフォーカスした災害へ備える場としたい。

## ☰ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

コミュニティを支援するためのWebサイトを作成します。  
飼い主に各種情報を登録してもらい、飼い主とペット毎の状況に沿った最適な情報を提供します。  
地方時自体の協力を得て、地域への情報発信と利用促進をおこないます。

## ☰ 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

**「家族」であるペットの迷子や災害時の早期発見を助けるサービス『おかえりQRペット』を2月17日より本格発売開始 株式会社 昭文社ホールディングス <https://www.mapple.co.jp/18369/>**

おかえりQRは2019年7月の発売以来、シールタイプの販売を続けてまいりましたが、このたび、新たにペット向けとして、ペットの迷子札メーカーとして実績のある株式会社てるべる（本社：埼玉県越谷市、代表取締役 照井宏俊、以下てるべる）と、ネームタグや革ラベルをはじめ高い印刷技術を誇る株式会社フクイ（本社：東京都台東区、代表取締役社長 土屋哲朗、以下フクイ）の協力を得て、質が高くペットに負担のない製品をお届けすることが可能となりました。

←所感：迷子になった時に身元を調べるためのシール販売（QRコードからWebアクセス）です。マイクロチップの埋め込みは敷居が高いため、普及させるにはよいものだと思います。ペットを把握するためには、マイクロチップ以外にこうした仕組みでのID管理も対象範囲として、活用させてもらえと思いました。

**環境省 自治体の防災計画等 [https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1\\_law/disaster.html](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1_law/disaster.html)**

東日本大震災を契機に、都道府県や市町村等の自治体の中には、飼い主責任による同行避難を前提とした支援体制や放浪動物等の救護体制の準備を進めているところもあります。また、改正動物愛護管理法では、都道府県が策定する動物愛護管理推進計画に、災害時の対応についての記載をすることとされたほか、動物愛護推進員の役割とし

て災害時の協力が追加されました。こうした状況をうけ、今後、自治体による災害への備えについて、より検討が進み、充実していくことが期待されます。

←所感：審査員の梅田様にコメントいただき、調べてみました。備えが必要で国も自治体も含めて、同じ問題を持って取り組むべきテーマとしている事が分かりました。自治体などと協力関係を築ければ、信頼感や安心感を伝えられるので、取り組みも進みやすいと思います。ありがとうございます。



**有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）**

サービスとして直接競合するものは見つけれませんでした。

互助関係の必要性を訴え、ペットの種類、性格、居住地、年齢など様々な条件から、有事の際に助け合う飼い主のマッチングをおこない、グループでの交流を育み、支援し、有事の際には互助関係が築けるようにしたいです。そこに有限でもある公助を上手く適用していきたいです。

弊社はチケット流通サービスでID管理およびIDを使った入退管理のノウハウがあるので、有事の際に避難所等でのペットの避難状況管理にも技術転用ができるかもしれません。



**実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）**

#### 【インフラ】

- ・人とペットの命を守るためのWebサイトを作成。
- ・日常で使える無償の範囲と、問題意識の高いユーザを対象とした有償の範囲を作る。

#### 【地方自治体】

- ・避難場所とペット受入の可否情報などの基本情報を登録管理する。
- ・定期的な防災イベントを登録管理し、情報発信する。
- ・同じ悩みを持つ飼い主やペットの取り組みなどを集め、情報共有する。

#### 【飼い主とペット＝利用者】

- ・基本情報や避難時に考慮したい各種情報を登録する。
- ・ペットをユニーク管理するためのマイクロチップやペットに付帯している識別IDを登録する。
- ・地方自治体やサービス運営者の発信する情報を参照し、相談などの投稿ができる。
- ・実際に体験した出来事を登録し、共有できる。
- ・イベント参加やグループトレーニングなどをカレンダー機能で管理できる。

#### 【サービス運営者】

- ・ペットの種類に応じて、発信できる内容や提供できるサービスを考え、発信していく。
- ・登録情報から同じ問題に取り組む仲間同士をマッチングして、グルーピングを提案する。
- ・利用者やグループに対して、レベルに合わせたイベント参加を提案する。
- ・大きなイベントは運営者側で計画する。
- ・グループ毎の小さなイベントは、グループ単位で自ら段階的に運営できるように支援する。
- ・グループ単位のイベントを有償でサポートできることも考え、ドッグトレーナー等と協力できる体制を用意する。
- ・Webサイトの保守と問い合わせ対応等をおこなう。



**課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか**

このサービスの存在と意義を利用者に発信していくために、国や地方自治体の協力が必要です。また内容を現実的なものにするために、獣医やトレーナーの皆様の助言と協力が必要です。

**期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください**





#### 【コスト構造】

- ・ 地方自治体での情報発信となり、地域情報誌に無料で掲載
- ・ システム構築費は5,000万円程度
- ・ サーバー利用費は月額30万円程度
- ・ サービス運用保守（システム保守1名 問い合わせ対応2名）の人件費は月額100万円程度

#### 【収益の流れ】

- ・ サービス利用登録無料
- ・ マッチングサービス利用時に課金（1回500円）
- ・ グループ活動期間中は情報共有ツールとして課金（月額300円）
- ・ 杉並区をモデルに試算

杉並区人口56.21万人→ペット飼育割合26.6% = 14.95万人

→継続利用率80% = 11.96万人→有償利用率30% = 3.58万人

→月額300円 = 1,076万円の売上→130万円の原価 = 946万円/月の粗利（11,358万円/年）

→初年度はシステム構築費を引いて6,358万円/年の粗利

杉並区をモデルに試算しましたが、モデル地区が上手くいけば横展開ができますし、規模の拡張に合わせてシステムや保守体制の規模を挙げていく必要も出てきます。



#### 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

お天気サイトのように、いつも利用者が見るサイト（サービス）になると成功です。

恥ずかしながら、私自身は常日頃から災害に対する意識が高い方ではありませんでした。

しかし、このアイデアソンを切っ掛けに防災について調べたり考えた時に、

日々共に過ごしている私たちのペットはどうなるんだろう？どうすべきなんだろう？

と考えるようになりました。ペットを飼うからにはその義務がありますが、

災害時までその考えは至っていませんでした。

問題意識の高い飼い主さんも含めて、同じ心配毎が潜んでいるのではないのでしょうか？

その災害が現実になる前に、全てのペットとその飼い主が問題を共有しながら、

現実になることを怯えて待つのではなく、前向きに楽しみながら備える事ができないだろうか？

そうならば全てが継続的に動き、周り出すのではないかと思います。

人とペットが笑顔で利用できるサイト（サービス）にしたいです。